

## 第 66 回町村議会議長全国大会

### 南雲正 会長挨拶

本日ここに、「第 66 回町村議会議長全国大会」を開催するにあたりまして、細田衆議院議長、長浜参議院副議長をはじめ、ご来賓の皆様には、公務極めてご多忙の折にもかかわらず、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

本年は、3 年ぶりに全国の町村議会議長が一堂にお集まりいただいております。全国各地からご出席の町村議会議長の皆様には深く感謝を申し上げます。

近年、自然災害が頻発しております。本年も、大雨、台風、地震、そして火山の噴火と相次ぎ発生いたしました。尊い命を失われた方々に、哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

国民の生命・財産を守り、災害に強い強靱な国づくりを進めるためにも、一層の防災・減災対策の強化が求められます。

また、東日本大震災、熊本地震等の被災地は、いまだ復興の途上にあります。引き続き被災地に寄り添ったご支援をお願い申し上げます。

新型コロナウイルスとの闘いが 3 年に及ぼうとしています。この一年で、日常生活や社会経済活動は少しずつ元の姿を取り戻しつつあります。

一方で、国際情勢の緊迫化による原油高、原材料高と急激な円安による物価高騰は地域経済に大きな影響を及ぼしております。

町村においても、現下のエネルギー高・物価高騰は大変深刻な問題であります。政府におかれましては、事業規模で約 72 兆円の総合経済対策をお取りまとめいただいておりますが、町村の経済に対して引き続き強力なご支援をお願い申し上げます。

加えて、私ども町村が安定した行政サービスを提供していくためには、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実は必要不可欠であります。来年度の予算編成に当たって確実に確保されるよう求めて参ります。

私たち町村は、安全で美味しい食料、綺麗な水、澄んだ空気を都市へ供給し、国民生活を支えて参りました。しかしながら、時代とともに効率性や便利さが求められるようになり、過疎化・高齢化が都市部より進んでいるのが現状です。

このような中、政府は「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、デジタル技術の活用により、全国どこに住んでいても誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指しております。地方の活力と新たな価値を生み出す推進力として、私たち町村も大きな期待を寄せております。

これまで取り組んできた地方創生の成果を活かし、各地域が再び人々の活気で賑わうよう全力で取り組んで参ります。

我たち町村議会は、住民の多様な意見を聞きながら、これまで以上に行政監視と政策立案機能を発揮し、議会の使命を果たして参ります。

現在、第33次地方制度調査会において、地方議会のあり方について審議が行われています。

本日の大会では、地方議会の位置付けや議員の職務を明確化する地方自治法の改正等の早期実現を求める特別決議をお諮りすることとしております。

あわせて、厚生年金制度への地方議会議員の加入、低額な議員報酬の改善など、議員を志す誰もが立候補し活躍できる環境整備が図られるよう、ご来賓の先生方におかれましては、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本大会が所期の目的を達成できますよう、ご参集の皆様にご協力をお願い申し上げ、開会のご挨拶といたします。

令和4年11月9日

会長 南雲 正